

津田公民館報

No.145

令和 3. 3. 22

津田公民館とんどまつり

令和三年に年が改まった一月十六日、恒例の津田とんどまつりを西津田運動公園を会場に行いました。計画では一月九日実施の予定でしたが、前日八日の降雪・風など天気予報により判断し一週間延期しました。延期したことにより、十分な周知が出来ずご迷惑をおかけしたことがあったと思います。心よりお詫びいたします。

この日の天気は、午前中は小雨時々曇りで風も結構ありましたが、午後からは雨も上がり、風も弱まり曇りで時々日差しもあり、良好なとんどさん日和となりました。

午前中には、立派な御神木を一对二本お迎えし、諸先輩方より継承されてきた、飾り物を手



順により飾り付け、とんどまつり本番に向け準備万端でした。

午後一時半、とんどまつりの開始頃には、二五〇人近い人たちにお出かけいただきいよいよ点火です。公民館運営協議会の浅野俊雄会長、町自連の森正剛会長、会場責任者の三島勝雄様、長澤孝之公民館長の四名の持ったいまつによって点火されると火は勢いよく焚き上がり、無病息災、祈願成就、地域安全や繁盛をお祈りしました。

その後も続々しめ縄などを持った人達が集まれ、また、書初めを燃やして字の上達を願う子ども達など賑やかなとんどまつりになりました。

そして、御神木が今年の恵方南南東の方向に倒れ歳徳神様に万事の吉をお祈りしました。コロナ禍の中でしたので全員マスクをつけ、間隔を取りながらの



開催でした。また、お餅やすめるを焼いたり、御神酒の振る舞いは中止して、個々に家から持って来たお餅やすめるを竹に挟んで焼いていたいただきました。集まった子ども達には、全員にみかんが配られました。また、和風や洋風を用意して、凧あげを楽しむ子ども達もいました。

交流の場として、こうした地域に残る伝統的行事はいつまでも続けていきたいものです。

実行委員、成人大学、消防津田分団のみなさまを始め、地域の多くの方々に早朝からの準備や遅くまでの後片付けに大変お世話になり、有難うございました。心よりお礼申し上げます。



「とんどまつり裏話」
しめ縄などの集積場は、年末に公民館向かいの小学校駐車場にボランティアの方に造っていただきます。今年は、一週間延期しましたが、年々しめ縄の量が少なくなってきたのが心配です。そして、しめ縄の燃えないうものを分別したり、当日、会場に運び込むのもひと苦労です。御神木は、年末に選びますが、今年は、一週間前の降雪で御神木の上部がたわみ、選び直す手間もかかりました。また、単に切り出すのではなく御神酒で清め、根こそぎ掘り出さなければなりませんので大変です。

令和二年度各学級の活動について

それぞれの学級の級長さん、班長さんにお書きいただいた今年度の活動についての感想などを載せております。令和三年度の各学級の活動は五月から始まりますが、できるだけご期待に沿う活動を準備いたしますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

津田パインクラブ

に参加して

原田 隆義

コロナ感染防止のため、公民館活動にも影響が出て、パインクラブの開講式も、六月に行われスタートしました。

恒例の七夕まつりは、従来の子ども達との合同作成は中止になりましたが、大きい飾りを作成して参加し、公民館前通りに笹竹が設置されました。

十月スポーツの季節、合同でグラウンドゴルフ大会を行います。心配された天候も、皆様の日

頃の行いが反映し、スタートと同時に晴れ渡り、校庭のあちらこちらで、歓声と拍手が響き、和やかさにつつまれ無事に終わりました。

文化祭では、コロナ禍の中、事前に「手指消毒」「検温」済み記入のシールを貰い会場への出入りが自由に出来る対応がなされ、多くの方が来場され、穏やかに展示場等を回り過せた二日間でした。

津田とんどまつりは、一週間延期され開催されました。神木が燃え上がると、徐々に親子連れも見受けられ、もちやマカロン等焼いて口の中へ。又幼子がしめ縄を一生懸命炎の上へと投げ入れる仕事も見受けられ、それぞれが楽しく新年を迎えられたことと思います。

二月には認知症予防講座が行われ、五年後には五人に一人が認知症にと話しておられました。予防として「五感」を鍛え、人とふれあい会話を心掛け、日頃からの取組みが大切との事。又手指



の運動、しりとり等当初はとまどいもありましたが、徐々に笑い声も聞ける和やかな雰囲気につつまれました。

閉講式は、世界大会も行われる話題のスコップ三味線の力強いバチさばき演奏、五十年歌い続けた歌謡浪曲の独唱、合間のトークは



参加された全員が心を癒されたと思います。今年度、パインクラブの三名の方が皆勤賞で表彰され、令和二年度の学級活動は終了しました。

最後になりましたが、コロナ防止等、館長はじめ職員の皆様には例年以上にお世話になりました。ありがとうございました。

成人大学

一年を振り返って

三島 伸夫

令和二年度の日記を振り返りますと、コロナ コロナの異常な一年でした。目に見えないパンデミックのコロナウイルスに対し、我々はなすすべがなく、全く無力でした。しかし、我々はこの事態に直面し、自分たち出来る最大の努力をした一年だったと思います。

開講式は、一か月遅れでスタートし、七月の七夕まつりの笹竹切りも本数は五分の一程度になりましたが、今年も七夕通りを作ることが出来ました。また、春の学級合同社会見学は中止となりました。



たが、十一月に鳥根県の西部地方に一泊で出かけました。九月には成人大学だけで、奥出雲へ社会見学に出かけました。奥出雲たたらと刀剣館では、日本刀の鍛錬実演を見ることが出来ました。十月には、学級合同グラウンドゴルフ大会、津田公民館の文化祭では準備と片付けを担当しました。十二月には、ニユースポーツ「ガラッキー」を



初めて行いましたが、大変盛り上がりました。一月のほとんどまったりは、大雪のため、一週間延ばして開催しましたが、成人大学の方がたくさん準備と片付けに参加していただき、無事に開催することが出来ました。二月には、成人大学の前田さんを講師に花台作りを行い、見事な花台が完成しました。三月は、行政書士の方のお話と閉講式を行いました。

今年度は、コロナのことを考えながらの行事実施ではありましたが、皆さんに協力いただき一年が過ぎました。どの行事でも反省会が実施できなく、一抹の不満がありました。来年度は、是非とも全事業が出来、懇親も深められる成人大学になるようにしたいと思います。本年も、成人大学の皆様のご協力で、地域の絆が深まったことに御礼申し上げます。今年度の振り返りとさせていただきます。

女性のつどい

一年を振り返って

石井 恵子

六月十九日、開講式を行い、今年度の行事を班ごとに話し合いました。



七月二十九日、足立美術館で日本一の庭園を見学しました。

十月二十四日、グラウンドゴルフを津田パインクラブ、成人大学合同で、津田小学校の校庭で行いました。天気は曇り、風が強く風の力を借りホールインワンを目指しました。楽しいひとときを過ごしました。

十月三十一日～十一月一日、津田公民館の文化祭がありました。毎年四中生のボランティアの方と一緒に喫茶を担当していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、喫茶は中止となり、当日は受け付けを担当しました。天気も良く大盛況でした。十一月十一日～十二日、秋の合

同社会見学は、鳥根県石見地方へ出かけました。夕食を頂きながら神楽を鑑賞しました。二日目は、太鼓谷稲成神社参拝、津和野の町を散策して帰路に就きました。

十二月九日、津田パインクラブと合同でカローリングをしました。思った所になく溜息がむれ、大笑いでした。楽しい時間をすごしました。

令和三年一月九日、とんど祭りが西津田グラウンドで行われました。朝から冷たい雨、実行委員会の方達は準備に大忙しでした。

二月三日、まめまめ体操をしました。日

ごろの運動不足解消に体をほぐす事ができ、楽しい時間でした。

最後に なりました。コロナ禍の中で行事を進めて下さった公民館長、職員の皆様に変にお世話になりました。ありがとうございます。



ありがとうございます。

Dレクラブ 一年を振り返って

長田 典子

Dレクラブとは「品格のある女性」という意味のもとに発足した



学級です。六月に開講式を行い、二十三名でスタートしました。みなさんで年



間計画を立てました。

七月、浜田の畳ヶ浦とアクアスに社会見学に行きました。アクアスではバックヤードを見させていただき、間近でイルカを見ることができて、かわいかったです。

九月、文化祭の展示作品の「カレイドフレーム」作りをしました。みなさん個性豊かな作品ができました。

十二月、まめの木の樋口こずえ先生による「椅子ヨーガセラピー」を行いました。ヨーガは、料理を作っているときや仕事の休憩時間などでもできそうだと思いました。

一月、ママサークルさんとカローリングを行いました。混合チームで対戦をしたので、ママサークルさんと交流が楽しくできました。今年は最後に景品をかけた個人戦があり、チーム戦以上に盛り上がりました。

二月、「アロマ講座」で、冬の時期の乾燥やマスク荒れなど、全身に使えるボディミルク



とボディオイルを作りました。亀井直美先生が持って来られた香りをブレンドして作りました。

三月、パインクラブとママサークルと合同で閉講式を行いました。林繁幸さんによるスコップ三味線のパフォーマンスがありました。初めて見させていただき、感動しました。

この一年、コロナ禍でたいへんでしたが、少しの時間でもみなさんと交流ができて、楽しかったです。

公民館職員の方々、班长さん、いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

ママサークルに

参加して

川畑 美奈子

自粛生活を余儀なくされていた令和二年度の始まり。ママサークルの活動も今年は難しいかもしれないと思っていました。六月に無事開講することができました。

長い間、家に籠る生活が続いていたため、久しぶりに公民館に集まることができたときには言葉の通り、身も心も解放感でいっぱいになりました。

今年度

は公民館の文化祭の出品する「なんちゃってステンドグラス」作り



始まり、ボービクス、モルック、カローリングといった軽スポーツ体験。クリスマス

の時期には「アーティフィシャルフラワー」の作り方を教えていただき、バレンタインの季節にはテリリーヌシヨコラ作りと紅茶の淹れ方教室を開催していただきました。

なかでも出西窯へのバスでのおでかけは、碧色がまぶしい陶器の数々や工房の周りののどかな風景に触れ、窮屈な現状を忘れてしまうような貴重なひとときを過ごすことができました。恒例となっていたイベントが今年度は開催できないものもありましたが、ほぼ一年を通して最後まで活動できたことは、感染予防対策をとりながらご尽力いただきました公民館の皆様のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。



鬱々とした気分になることも多かった一年でしたが、月に一度、皆さんと一緒に活動することで自然と心が晴れました。改めてママサークルの存在意義を感じた一年でした。

息子の幼稚園卒園に伴い、三月の閉講式を以て私もママサークルを卒業です。ママサークルで訪れた場所、皆さんから教えてもらった地域の情報など、夫の転勤で県外から来た私はこのサークルで島根のことをたくさん

今年度は、例年通りの活動が難しい中、徹底した感染防止対策、細やかな心配り、状況を活動内



私は、一昨年の十月に松江に引越してきて、くれよんバスという母と子学級に出会いました。年度途中ではありましたが、快く温かく迎え入れてくださり嬉しかったことを今でも覚えています。

**親子で楽しむ
くれよんバス**

伊藤 由佳

知ることができました。また、学年の枠を越えて他クラスのお母さんとも交流を持つことができ、楽しい時間を過ごすことができました。公民館の皆様、ママサークルのメンバーの皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

活動は、七月の七夕飾り作りからスタート。九月にはゴビウスへバス遠足。お互いに距離を保ちながらも、毎回笑顔で温かい雰囲気を作ってくださいっているまあまの皆様のおかげで自然と親子の表情もやわらかくなります。お芋掘りは雨で中止となり残念でしたが、地域のパン屋さんがお芋パンを作ってください、頂きました。十月には青空の下でよしとさんの紙芝居を津田幼稚園の子ども達と楽しみ



容の配慮をしてくださり、おかげ



ました。十一月は幼稚園の園庭で焼き芋をしました。子どもが焚き火に焚き木をくべる、という体験をさせてもらい、間近で火が燃える音を聴いたり、匂いを嗅いだり、肌で温もりを感じたりしました。このようにいろいろな場面で地域との繋がりを感ずることもできました。

今年度は、活動回数は少なかつたものの、一つひとつの活動の内容が濃く、毎回充実した時間を過ごさせてもらいました。くれよんバスという親子で過ごせる場所に集まり、共に活動することで子ども達同士が関わり合うことができます。様々な経験・体験を通して、親子での会話や触れ合いを楽しんだり、参加者の方との会話や交流が増えたり、毎回みんなの笑顔で溢れていました。また、参加者の方、まあまの皆様、公民館の皆様にも我が子の姿を見守ってもらえる、優しい声をかけてもらえるありがたさを感じました。何より我が子は毎回「楽しかった!! また絶対行くこうね。」と言っていました。くれよんバスに関わるすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。

新春コンサート

一月三十日の午後、津田公民館交流ホールで新春コンサートを開催いたしました。

今年の出演者は、「プチショコラ」というユニットから、フルートの石倉真樹子さんとピアノの春木美保さんのお二人でのコンサートでした。「プチショコラ」の名前の由来は、子育て中につまんで食べた少しのチョコレートがとても癒しになったこと、そういう存在になって癒しを届けたいという思いで付けられたそうです。

はじめは、冬の景色が浮かんでくるような曲で、次は花が咲き誇り春の訪れを感じるような曲と続き、みなさんもそれぞれの情景の中にいるように感じられたことでしょう。

次に、フルート演奏の代表曲など四曲を演奏していただきました。透き通った音色やフルートとピアノの協奏はマッチしていて、心地よく心が揺らされ音楽の世界に引き込まれる素晴らしい演奏でした。

続いて、映画音楽で、昨年までの国内映画の興行収入ベスト3を演奏していただきました。いずれの曲もス



トリーを思い出させる、酔いしれる演奏でした。

休憩の時には、コロナウイルス感染拡大防止のため換気や手指の消毒などにご協力いただきました。

演奏の合間のトークは、石倉真樹子さんのキャスターやリポーター、イベントや式典の司会など輝かしい経歴にも気遣いされるなど心地良くさわやかでした。また、お二人の演奏はもとより、選曲など素晴らしいコンビネーションを感じました。後半は、音楽で世界旅行と題して、日本から始まり世界各地の曲により、すばらしい世界旅行へとご案内いただきました。最後に、コロナ禍でうつむき、マイナス思考になりがちですが、上を向き、たゆまない前進でコロナ禍を乗り越えられるようなプラス思考と元気をいただきました。

アンコールの声がかかり、震災復興支援曲を聞きながら併せてコロナ禍の終息も祈りました。

演奏のすばらしさから、「来てよかつた」という声が来場者の中で話されていました。音楽を通して心が癒されるとともに、心豊かになり大変充実したひとときでした。お出かけくださった皆様方も大変満足そうでした。



あとかき



令和二年度の公民館活動は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、四・五月は公民館使用禁止となり、さびしい二ヶ月でした。しかし、殆どの各諸団体の年度初めの総会は書面決議となり、結構忙しいスタートでもありました。

六月からは、利用人数の制限をしながらも六つの各学級や三つの公民館講座がスタートし、各サークルも徐々に活動が始まりました。

ご利用のみなさまには、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に対応いただく中、公民館の活動や運営に格別のご理解・ご協力・ご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まりますが、終息の兆しが予測できない中、次年度も感染症拡大防止対策に努め、みなさまの声に心えながら、地域の公民館として交流の場づくりを通して、つながり、つなげる絆を生かし、より充実した活動が展開出来ますよう、また、活力ある地域づくりが出来ますよう引き続き一層のご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。